

令和6年度
未来を切り拓く
Dream授業
報告書

令和6年8月20日～8月23日



目 次

1	授業概要	1
2	授業開催までの流れ	2
3	受講生の概要	3
4	授業スケジュール	5
5	講師・講義内容一覧	6
6	講義の様子	7
7	グループディスカッション・発表	11
8	受講生の振り返り	14
9	受講生アンケート集計結果	15
10	保護者の感想	17
11	ユースリーダー	19
12	同窓会	20

1 授業概要

- 1 日 程 令和6年8月20日（火）から8月23日（金）まで（3泊4日）
- 2 方 法 対面による講義、グループディスカッション及び発表
- 3 会 場 静岡県立焼津青少年の家（焼津市石津 2259-408）
ふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡市駿河区大谷 5762）
- 4 受 講 生 県内の中学1・2年生 27名（応募者28名）

5 授業の概要

(1) 各界を代表する講師陣による講義【世界・地域を知る】（50音順、敬称略）

講師	役職等
渥美 万奈	ソフトボール元日本代表・東京オリンピック金メダリスト
木南 竜平	近畿大学水産研究所助教
櫛野 展正	アーツカウンシルしずおかチーフプログラム・ディレクター
高畑 幸	静岡県立大学国際関係学部教授
中西 利典	ふじのくに地球環境史ミュージアム教授
矢野 弘典	(一社)ふじのくにづくり支援センター理事長、(公財)産業雇用安定センター会長
SPAC 劇団員	県立劇団（演劇・舞台芸術）

(2) A L Tとの交流【世界に触れる】

世界各国から静岡県に来ているA L Tや国際交流員と交流

(3) 俳優による表現指導等【感性・表現を磨く】

現役の劇団俳優によるデモンストレーションとワークショップ

(4) 同世代の仲間とのディスカッション【感性を磨く】

異なる志を持つ同世代の仲間とのグループディスカッション

(5) 発表【表現を磨く】

グループディスカッションの結果をまとめ、発表

2 授業開催までの流れ

1 受講生募集

本年度より、全学校への1人1枚のチラシ配布から、チラシデータの電子配布へと切り替えた。4月23日(火)に各市町教育委員会と各学校にPDFデータ(チラシ、募集要項、作文様式)を送付した。募集期間は4月26日(金)から6月6日(木)16時までとした。

手続きもこれまでの申込書の郵送から、県電子申請サービスへの入力とした。作文については、電子申請サービスへの添付、メールでの添付、郵送、持参のいずれかでの受付とした。

2 受講生決定

期間中には28名の応募があり、定員に満たなかったため、応募者全員を受講生として決定し、6月6日付け総教第16号で通知した。また、受講決定者の所属する中学校長にも同様に6月7日付け総教第17号で通知した。

受講決定した28名のうち1名が受講を辞退したため、最終的に受講生は27名となった。

3 事前課題

受講生には、受講決定通知の際、6月25日(火)までに他の提出書類と共に事前課題を提出するよう求めた。

事前課題の内容は「理想のまち」についての作文であり、授業のグループディスカッションのテーマである「理想のまちをつくろう」につながる内容を題材として設定した。

4 グループ編成

授業中に多様な意見や考えに接することができるように、受講生から提出のあった事前課題の内容や、学年、性別、居住地等ができるだけ重ならないように配慮し、男女混合の研修班を編成した。

宿泊については、男女別の宿泊班を編成した。

5 ユースリーダーの協力依頼

過去の「未来を切り拓くDream授業」及び「日本の次世代リーダー養成塾」の参加者に、授業の運営の補助やグループディスカッションにおける助言を行うユースリーダーとしての協力を呼び掛けた。

4月9日付け総教第4号で協力を依頼し、5月23日(木)までの応募期間に11名の申込があり、6名(大学生1名、高専生1名、高校生4名)に依頼した。

3 受講生の概要

1 受講生の学年・性別

学年	男子	女子	計
中学1年生	8	11	19
中学2年生	4	4	8
計	12	15	27

2 受講生の所属中学校一覧

※（ ）内の数字は2人以上の場合の人数

学校居住市町	学 校 名	
静岡市(7)	静岡市立大里中学校	静岡市立長田西中学校
	静岡市立南中学校	静岡市立豊田中学校
	静岡市立由比中学校	静岡北中学校
	静岡サレジオ中学校	
浜松市(10)	静岡県立浜松西高等学校中等部(2)	浜松市立北浜中学校
	浜松市立富塚中学校(2)	浜松市立八幡中学校
	浜松市立入野中学校(2)	浜松市立西部中学校
	浜松市立庄内中学校	
御殿場市	御殿場市立南中学校	
三島市	三島市立山田中学校	
伊豆の国市	伊豆の国市立韮山中学校	
函南町(2)	函南町立函南中学校	函南町立東中学校
藤枝市(2)	藤枝市立西益津中学校(2)	
掛川市	掛川市立北中学校	
袋井市	袋井市立袋井南中学校	
湖西市	湖西市立岡崎中学校	

3 在籍学校種別

種類	人数
国立	0
公立	25
私立	2
計	27

4 将来の夢（複数回答）

将来の夢	人数	将来の夢	人数
保育士	2	振付師	1
国際社会で活躍する看護師	1	イラストを使った職業、本の編集者	1
薬剤師	1	漁師	1
歌って踊りみんなを笑顔にできる Doctor	1	環境省で環境を守る人	1
国連FAO	1	人間科学の勉強をしたい	1
イラストレーター	2	ゲームクリエイター	1
外交官	1	医師	1
科学者	1	人を笑顔にできる人	1
夢をつくれる人	1	生活に支障がある人を助ける仕事	1
警察官	1	楽しく健康にかつ自由にやりたい仕事をおっている人	1
脚本家	1	ミュージカル女優	1
小児がんの治療に携わる医師	1	獣医師	1
まだ決まっていない	1	マラソン選手	1

4 授業スケジュール

	8月20日(火)	8月21日(水)	8月22日(木)	8月23日(金)	
6:30		起床・準備	起床・準備	起床・身辺整理	6:30
7:00		朝のつどい	朝のつどい	朝のつどい	7:00
8:00		朝食	朝食	朝食・リネンの返却・身辺整理	8:00
9:00		GD②	GD⑥	GD⑨	9:00
		次時の準備	次時の準備		
10:00		講義③ SPAC	講義⑤木南竜平講師	発表準備	10:00
	受付・諸連絡		レポート記入 振り返り 次時の準備		
11:00	開講式・オリエンテーション		講義⑥榎野講師	発表・審査・講評	11:00
	係決め等	レポート記入・振り返り			
12:00	昼食	昼食	レポート記入・振り返り 昼食	昼食	12:00
	次時の準備	次時の準備			
13:00	講義①矢野弘典講師	講義④ 高畑講師、ALT	バス移動	スピーチ原稿作成	13:00
	レポート記入 振り返り 次時の準備	ALT等との交流1			
14:00	講義②渥美万奈講師	ALT等との交流2	ふじのくに地球環境史 ミュージアム (講義⑦中西利典講師 ・施設見学等)	1人1分スピーチ	14:00
	レポート記入 振り返り	レポート記入 振り返り		アンケート記入	
15:00	荷物移動 全体交流の会場準備等	GD③	バス移動	閉講式 記念撮影・解散	15:00
16:00	夕べの集い	夕べの集い	夕べの集い		16:00
	全体交流の時間	GD④の準備	1人1分スピーチについて		
17:00	夕食	夕食	夕食		17:00
	ガイダンス (GDや発表について)				
18:00	発表順決定・テーマの決定	GD④	GD⑦		18:00
	テーマの発表				
19:00	入浴 (研修班別)	入浴 (研修班別)	入浴 (研修班別)		19:00
	GD① (研修班別)	GD⑤ (研修班別)	GD⑧ (研修班別)		
20:00	就寝準備 就寝	就寝準備 就寝	就寝準備 就寝		20:00
21:00					21:00
22:00					22:00
23:00					23:00

5 講師・講義内容一覧

(講義順、敬称略)

1 矢野 弘典 / (一社)ふじのくにづくり支援センター理事長

講義内容 : 夢をえがこう

日 時 : 8月20日(火) 13時~14時

場 所 : 焼津青少年の家 視聴覚室



2 渥美 万奈 / ソフトボール元日本代表 東京オリンピック金メダリスト

講義内容 : 夢を叶えるために

日 時 : 8月20日(火) 14時45分~15時45分

場 所 : 焼津青少年の家 視聴覚室



3 SPAC / (公財)静岡県舞台芸術センター

講義内容 : 静岡から世界へ 舞台俳優の仕事について

日 時 : 8月21日(水) 9時30分~11時45分

場 所 : 焼津青少年の家 視聴覚室、オリエンテーション室



4 高畑 幸 / 静岡県立大学国際関係学部 教授

講義内容 : 多文化共生ってなんだろう

日 時 : 8月21日(水) 13時~15時45分

場 所 : 焼津青少年の家 視聴覚室



5 木南 竜平 / 近畿大学水産研究所助教

講義内容 : チョウザメの超メス~生物学を産業に活かす~

日 時 : 8月22日(木) 9時15分~10時15分

場 所 : 焼津青少年の家 視聴覚室



6 櫛野 展正 / アーツカウンシルしずおか チーフプログラム・ディレクター

講義内容 : パラレルキャリアのすすめ

日 時 : 8月22日(木) 11時~12時

場 所 : 焼津青少年の家 視聴覚室



7 中西 利典 / ふじのくに地球環境史ミュージアム 教授

講義内容 : 100年先を考える博物館

日 時 : 8月22日(木) 13時30分~16時

場 所 : ふじのくに地球環境史ミュージアム



○矢野弘典講師「夢をえがこう」



- ・御自身の経験をもとに「縁（人縁、地縁、時縁）」をキーワードにした講義が、多くの受講生の心に残ったようである。
- ・「青草も燃える」という言葉から、「努力を続けることで成功につながる」「どんなに難しいことも出も根気強くやれば成功できる」ことを感じ取ったようである。

○渥美万奈講師「夢を叶えるために」



- ・自身のこれまでの体験や苦労した経験をお話し頂き、受講生にとってはリアリティのある内容に感じたようである。
- ・元オリンピック選手と一緒にストレッチをしたり、本物の金メダルに触れられたことも良い思い出になった。「一生忘れません」という感想もあった。

○宮城嶋遥講師「静岡から世界へ 舞台俳優の仕事について」

○表現指導



- ・SPAC（公益財団法人静岡県舞台芸術センター）についてだけでなく、演劇や舞台俳優の仕事等についてもお話いただいた。
- ・呼吸法、重心移動といった基礎的なトレーニングから始まり、実際に台本を身振り手振りを付けながら読むシーンでは、楽しみながら体を動かしていた。

○高畑幸講師「多文化共生ってなんだろう」

○ALT、国際交流員との交流



- ・全く異なる文化であっても根底ではつながっているという「島モデル」、多文化や文化のつながりの説明を受け、受講生は納得の表情で聞いていた。
- ・各研修班にALTが入り、身振り手振りをしながら、工夫しながら意見交換ができ、良い経験となった。

○木南竜平講師「チョウザメの超メス～生物学を産業に活かす～」



- ・最先端の研究成果を分かりやすいスライドで説明頂き、新しい技術を現実のものとして感じることができた。受講生は講義後の質問も積極的にしていた。
- ・「見えている世界は人それぞれ」ということに共感を得たという感想が多く、「他人の見え方を大切にしながらより良い未来を作りたい」という考えを持った受講生もいた。
- ・チョウザメの鱗の実物を興味深く手に取っている様子があった。

○榎野展正講師「パラレルキャリアのすすめ」



- ・御自身の豊富な経験をお話しされたうえでの「始めるのに遅すぎることはない」という言葉が、多くの受講生の印象に残った。早く始めなくても、自分のペースで考えていくことの大事さを感じたようだ。
- ・「いかに人の声から耳をふさぐか」という内容は、人と相談してアドバイスを受けるといった話を聞いてきた受講生にとっては、新鮮な言葉として受け止められたようだ。

○中西利典講師「100年先を考える博物館」



- 「百年後の静岡」というキーワードが印象的だった。多くの受講生が、「百年後なんてこれまで考えたことなかった」、「過去を知って今を見つめて未来を考えることを意識していきたい」といった感想が多かった。
- 館内展示の見学では、少人数のグループにガイドのボランティアの方がついてくれ、細かな説明を受けながら、直接触れられるものには触れながら、見学ができた。
- 地球家族会議では、水の利用についてディスカッション形式で講義を受けた。利用できる淡水の少なさに驚きながら、意見交換を行った。

7 グループディスカッション・発表

1 グループディスカッション

(1) 進め方・時間配分等

「理想のまちをつくろう」をテーマにグループディスカッションを行った。以下の順番で活動を進めた。

- ・事前オリエンテーション（日程確認、発表までの流れや中間発表、発表本番の方法、投票の方法等の確認）
- ・班内での意見交換（ワークシートを配布し、事前課題の内容を班内で共有し、発表内容のポイント決定）
- ・班内でディスカッション、ポスター作成、発表練習時間を持て余す班や最終日の発表に間に合わない班はなく、時間設定は適切だった。



(2) 受講生の様子

受講生は、主体的、積極的にディスカッションに参加し、各研修班では活発な議論が行われた。かなり白熱した議論が行われ、考え方の違いから、話し合いが止まってしまったり、意見をまとめるのに苦労している様子も見られたが、ユースリーダーの助言を受けながら受講生自身の力で乗り越えることができた。

このような経験により、自己の意見を他者に納得してもらおうことの難しさや、他者の意見を受け入れることの大切さを学ぶことができた。



2 発表

各班 10 分の持ち時間で発表を行った。ポスターを使い各班が観覧者に考えをわかりやすく伝えようと工夫をしながら発表した。

その後、会場内にホワイトボードを設置し、各班のポスターを掲示して、来場した保護者も含め、参加者同士で意見交換を行うポスターセッションを実施した。

各班がまとめた「理想のまち」は次ページのとおり。



【A班】「古い文化と新しい文化を融合させた多文化都市～目指すはアジアのUSA～」

古い文化と新しい文化を融合させた多文化都市

～目指すはアジアのUSA～

理由
 地域の伝統を海外等にしようとする事で、静岡の文化のすい退の阻止と多文化共生を目指したいから

主な行動
 静岡の食文化や特産物を海外の文化とかけ合わせて売り出す

文化のかけ合わせ

エスニックSタウン
 特定の文化をもった人が集まり生活を営む地域。複数形の「S」を用いて、様々な文化が集まるタウン。

例: リトルTokyo, アメリカのロサンゼルスにある日本街。

特徴: 横浜中華街、中国人の外商が商売をはじめ、したいに形成された中華街のごと。

地元民 → 街を活性化してハッピー
 外国人 → 行きやすい → 観光客増
 ↓
 多文化共生社会の実現

イベント
 エスニックSタウンをもって盛り上げみんなを楽しませるため。

フェア
 就職フェア、スタンプラリーフェア、特産物紹介フェア、クッキングショー

交流会
 多文化交流相談会

外国人に就職の場を設ける!
 地元の物が売れる!
 年代を問わず、多文化理解!

宣伝

- 10代～30代の人にエスニックSタウンに来てもらうため!
- 世界中の人に知ってもらうため!

☆ SNSを中心に発信 (世界的に有名な人も!!)

☆ インフルエンサー・芸能人と協力

- 商品とコラボし宣伝
- お店に来てもらい宣伝

結果 ☆ 多文化都市ができる

- 外国人労働者の増加
- 地域の活性化、認知度の向上
- 観光客の増加

まとめ SNS, エスニックSタウン, 特産物PR

↓

多文化かつ観光地の都市

【B班】「Let's make our town more lively!」

Let's make our town more lively!

経済 Economy

↑

移住UP Tax

↓

観光 Sightsseeing

教育 Education

産業 Industry

↓

人口増加 Population increase

移住 Removal

少子化対策 Reducing birthrate

充実した教育

なぜなら? 移住の目安
 著名人が輩出される、前例がこれ、体験、見学を増やす

どんな? 地域の特色や魅力を実感
 大人には、長時間、丁寧な考えを促す

※ 生かされていない魅力
 * 地域の特色
 「観光面」「産業面」に注目

例えは...

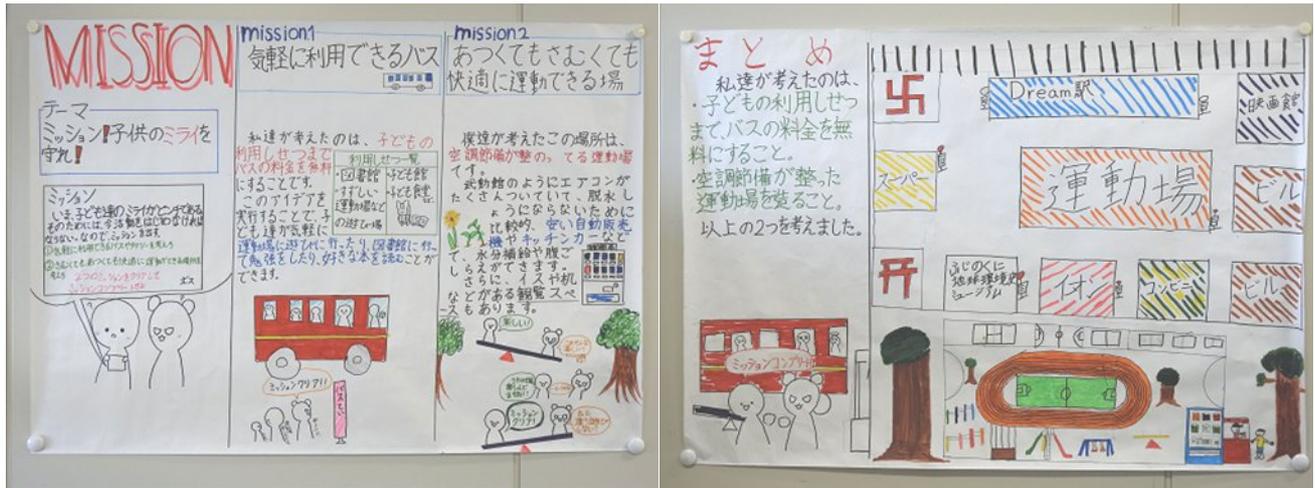
地域	産業	観光
掛川	茶作り体験	掛川城
浜松	ヤマハ・スズキの大工場の見学	浜松市博物館の虫塚 (ヒメジ)
静岡	特産品工業の見学	駿府城
藤枝	明治製菓市内工場見学	千寶堤 瀬戸茶飯伝承館
御殿場	米作り体験	富士山

生かされていない魅力を生かすには

- 空いた土地を 移住 店を建てる、公共施設を建てる、観光客への貢献
- 交通 アクセス 立地条件の活用、公共交通機関の活用、企業
- 情報 SNS インターネットの活用、SNSの活用、公共施設の発信
- イベント 講座の開催、スタンプラリー

以上の活働により、**経済の向上**が見込め、理想のまちができていきます!

【C班】「ミッション！子供のミライを守れ！」



【D班】「子供の夢が詰まった理想の街をつくろう大作戦！！」



【E班】「心ぽかぽか緑豊市(りょくほうし)」



8 受講生の振り返り

1 振り返りレポート

各講義終了後、受講生に「振り返りレポート」を記入してもらった。

(1) 講義について

講義を通して

- ・これからどんどん困難があるだろうし、つらいこともあると思うけど、自分の周りの人に助けをもらったり、自分の力で乗り越えることが大事だと思った。
- ・色々なことに挑戦したり、「無理だ」とやる前から否定することはしないようにしたい。また、自分が見つけたことをやり続けるようにしていきたい。
- ・他の人の世界にも興味を持つことで、自分の世界も広がるということが分かった。他の人の世界に興味を持てば、意外な発見や新しい興味が出ると思う。

といった、自分の夢や将来に対して、より前向きに取り組もうという意識に変化したことが伺える。

(2) 3泊4日の仲間との生活について

4日間、一緒に活動した中で

- ・学校が違う全く知らない人達とのお話や、美味しいご飯やためになる講義と、もう一度参加したいと思える楽しいDream授業となった。
- ・いろんな学校の皆さんとたくさん会話したり、授業を受けたりとても有意義だった。他では味わえない体験だったと思う。
- ・普通会わない他校の人等、多くの人との交流ができ、新たな友人や新たな視点に出会えてとても良い経験になった。

というように、人間関係が広がったことや、普段の学校生活とは異なる宿泊を伴う行事に参加できたことが印象に残っているようであった。

2 1人1分スピーチ（発表）

最終日（4日目）、受講生が4日間を振り返り「1人1分スピーチ」を行った。講義室で全員の前に立って発表した。3泊4日の全てのプログラムを受講しての感想や将来に向けての思い等、自分が感じたこと、得たことをそれぞれが自分の言葉で堂々とした姿で発表した。観覧に来ていた保護者の方々も、子どもたちの成長した姿を写真に収めていた。



9 受講生アンケート集計結果

受講生には、全日程終了後にD r e a m授業全般についてのアンケートを実施した。主要な質問に対する回答結果は下記のとおりである。

問 「未来を切り拓くD r e a m授業」に参加して良かったですか。

1	とても良かった	23人	85.5%
2	良かった	3人	11.5%
3	普通	0人	0.0%
4	あまり良くなかった	0人	0.0%
5	良くなかった	0人	0.0%
合計		26人（無回答者1人）	

○「とても良かった」を選んだ理由（主なもの）

仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ではあまり人と話さないけど、ここでみんなと関わってすごく楽しくて学校より多く友だちができた気がするから。 ・新しい友達に会え、新しいことを学べたから。 ・知らない友達と色々なことができたから。めったにない体験ができたから。 ・班の皆さんと戦いながらも最後に1位をとることができて嬉しかった。 ・グループのみんなと協力しながらやることができたから。
新しい知識や考え	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の今まで知らなかった事や新しい考え方を知る事ができたから。 ・自分の考えを変えさせてくれた。
自分の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な人と出会えたし、来る前より人の話を聞く、自分の意見を言う、相手の意見を受け入れるということをよりできるようになった。 ・普段接することのない人と話したり講義を受けたりして世界が広がったから。
夢や将来	<ul style="list-style-type: none"> ・夢をかなえるために、講師の方々の貴重なお話を聴けたことが満足したから。 ・今までどんなことが夢を叶えるために必要かわからなかったけど、色々なことがわかったから。 ・夢をかなえるために、講師の方々の貴重なお話を聴けたことが満足したから。 ・友達がいっぱいできたし、講義もこの先の将来や未来に役立つ話を聴くことができたから。

問 授業の日程は長かったですか、短かったですか。

1	長かった	1人	3.8%
2	ちょうど良かった	18人	69.2%
3	短かった	7人	26.9%
合計			26人

（「1 長かった」「3 短かった」と答えた14人）どのくらいの日程が良かったか。

1	1日	0人	0.0%
2	2日	0人	0.0%
3	3日	0人	0.0%
4	5日	4人	57.1%
5	6日	3人	42.9%
6	その他（1週間）	0人	0.0%
合計			7人

※長かったと答えた1名は1日～3日の選択肢を選ばなかった。

10 保護者の感想

D r e a m授業終了2か月後に保護者に対してアンケートを実施した。学習面だけでなく、生活面等においても、D r e a m授業参加前に比べて、意欲的、前向きに行動しようという意識が高くなったようである。また、実際に積極的に行動している様子も伺えることから、参加後すぐに、受講生の意識の変化が行動に現れたと考えている。

主な意見は以下のとおりである。

問 D r e a m授業参加後のお子様に、どのような変化がありましたか。

学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の目標が明確になり、勉強にも力が入った。 ・夢が明確になったのでなんのために勉強するのかがわかり、頑張っている。 ・学習意欲は高まったと感じる。勉強面で行き詰まった時でもD r e a m授業で出会った同世代の方々の頑張っている様子などを思い出し『自分も頑張ろう』と前向きに考える場面が増えたように感じる。 ・将来について考えていたことがさらに具体化し、勉強面にも気合が入ったように感じる。 ・以前にもまして勉強時間が長くなった。解答をすぐに見ることはせず、自分で考える時間を前より長くかけている。どうしてそうなるか意味を知ろうとしている。自分で考えることが大事だとD r e a m授業後は確信した様子。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちをきちんと伝えようとする姿勢を感じる。 ・少しずつだが、時間を意識して生活するようになった。 ・D r e a m授業に参加する前は、どんな人がいるのか不安そうな表情をしていたが、参加後迎えに行った時は、イキイキとした表情になっていて驚いた。 ・日々、自分の役割を考えたり、学校でも、なにか役をやるようになった。 ・いろんな考えの生徒の方がいてとても刺激になったようだ。将来について周りの子供たちが具体的に考えていたことにとっても刺激を受けたようで、その後の生活も目標に向かった生活の仕方をしているように思う。 ・陸上部の活動では、夏休みに毎日トレーニングをして、県大会にも出場した。こつこつ毎日やれることを、自分でやるようになった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でみんなの意見をまとめていくときに、D r e a m授業の経験が生きた！と話してくれた。人の意見の良いところを認め取り入れながら、より良い方向に進めていくことができるようになった、と話してくれた。 ・習い事を止めて勉強時間にあてて夢を叶えるように努力する、と張り切って二学期をスタートした。 ・一人でできるという自信がついたのか、学校の係を決める時でも自分から挙手をしてチャレンジするようになったと思う。 ・いろんな職業があり、可能性や選択肢はたくさんあること、これだけ、と決める必要はないことを教えていただき、視野がひろがったようだ。

問 Dream授業参加後のお子様の感想で、特に印象に残る内容はどのようなものですか。

- ・同年代の子と議論するのが、めんどろなこともあったけど、楽しかったこと。外国人の講師と英会話を試すことができたこと。
- ・いろいろな人の話を聞いて楽しかった様子が見られたこと。ユースリーダーや仲間との関わりが楽しかった様子。
- ・先生方の講義のこともすごく良かったと話してくれたが、特に先輩方との交流が印象的だったようで、リーダー養成塾やユースリーダーに挑戦したいと話していてとてもいい経験になったのだなと感じた。
- ・普段あまり話をしない子どもが、こちらから聞かなくてもDream授業のことを興奮しながら自ら話してくれた。キラキラした目でとてもいい表情だった。本人が一番不安だった初対面の人たちは、みんながとてもフレンドリーですぐに打ち解けて仲良くなったこと。授業では演劇のロミオとジュリエットの劇で「一族の重み」として、まさかの「リアルな重さ」を体感しながらセリフを言わなければならない授業が印象に残った。
- ・授業以外でも、食事が毎食すべて美味しかった。バスで大合唱など、仲間との過ごした時間が充実していたことがすごく伝わった。サポートしてくれたお兄さん、スタッフさんたちの存在も大きいなと聞いていて思った。
- ・シェイクスピアの劇をやったと聞いて、文化に触れたり、仲間と協力出来たことを嬉しく思う。地球環境ミュージアムへ雨の中バスで行ったときに、みんなで歌いながら行ったと聞いた。闊達なみなさんに囲まれてお土産話からもすごく元気や嬉しさをもらった。食事や学習、宿泊班がどれも分かれていたそうで、いろいろな人と話せたと聞き、配慮がありがたかった。
- ・すごく楽しかった！と第一声がそれだった。
- ・いろいろな友達ができ、その後も連絡を取っている風景を見ると、夏休みの良い思い出になったんだなとすごく嬉しく思った。

11 ユースリーダー

1 ユースリーダー

ユースリーダーは、授業の運営の一翼を担うボランティアとして、過去の「未来を切り拓く Dream 授業」及び「日本の次世代リーダー養成塾」の参加者に協力を呼び掛け、大学生1名、高等専門学校生1名、高校生4名の計6名に協力していただいた。

ユースリーダーには、授業の準備、講義内容の記録作成、授業の様子の写真撮影といった事務的な作業だけでなく、受講者に対する助言、生活全般の指導など、様々な場面で協力していただいた。ユースリーダーの力なくして授業を円滑に進めることは不可能であった。ユースリーダーの活躍に感謝するとともに、敬意を表したい。

ユースリーダー自身も、講義の後の振り返りやディスカッションで助言したり、悩みに寄り添ったり、一緒に生活したりしていく中で、大きく成長していく姿が伺えた。発表準備を進める中では、笑顔でアドバイスしたり、親身になって寄り添う姿が印象的であった。この経験が自らの夢に向かって努力を続けることにつながり、社会に大きく羽ばたいていくことを願っている。

2 受講生の感想（事後アンケートより）

(1) ユースリーダーについて

- ・班における話し合いの時に話が進まないメンバーの意見を引き出す働きをして頂きました。また、話が順調に進んでいると静かに見守ってくれたことが印象に残っています。優しく頼りがいのあるユースリーダーが班の支えになりました。
- ・ユースリーダーの方がわからないことやここはこうした方がいいんじゃない？というアドバイスなどを優しく教えてくれました。声をたくさんかけてくれてとても話しやすかったです。
- ・自分の班を担当して下さったユースリーダーさんは、とても優しく、常に正しい判断をし、いつも笑顔で冷静なユースリーダーでした。特に印象に残っているのは、グループディスカッションでの話し合いです。
- ・つどいの交流するとき笑顔で話しかけてくれた。高校の授業のおもしろい話をしてくれた。

(2) ユースリーダーとして参加することについて

問 高校生になったらユースリーダーとして Dream 授業に参加したいか。

参加したい	23人(88.5%)
どちらとも言えない	3人(11.5%)
参加したくない	0人(0.0%)

多くの受講生は、4日間の経験からユースリーダーへの興味やあこがれがあることが分かった。高校生になってユースリーダーを希望してくれる子がたくさん出ることを期待したい。

12 同窓会

「未来を切り拓く Dream 授業」の過去の参加者が現在の目標や生活の様子等について情報交換することで、参加年度を超えた縦のつながりを広げるとともに、それぞれの目標の実現に向けて相互に刺激し合う機会とするため、同窓会を開催した。今回の開催は令和3年8月に次いで2回目の開催となった。

1 開催概要

(1) 開催日時・日程

令和6年11月23日（土・祝） 午前10時～午後12時

時間	内容
9:45	県庁集合
10:00～10:10	講話
10:10～10:40	参加者による近況報告（班ごと実施）
10:40～11:50	グループワーク（班ごとに Dream 授業での経験を基に話し合う） ・テーマ「夢を叶えるために必要なこと」 ・班ごと発表
11:50～12:20	講評・記念写真撮影・諸連絡

(2) 会場

静岡県庁別館 20 階第一会議室（静岡市葵区追手町9番6号）

(3) 参加者

平成30年度、令和元年度、令和3～5年度の受講生及びユースリーダー 29人
（平成30年度1人、令和3年度7人、令和4年度9人、令和5年度12人）

※申し込みは35人。事前に欠席5人。当日欠席1人。

2 受講生の様子

(1) 近況報告

5名程度の班に分かれ、自己紹介と近況報告を行った。面識のない班員との交流であったがすぐに打ち解けて、学校での様子などを積極的に紹介し合っていた。



(2) グループワーク

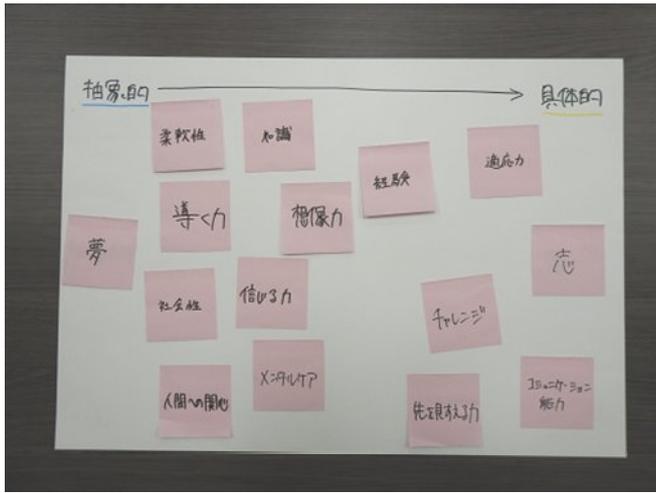
6名程度の班に分かれ、「夢を叶えるために必要なこと」をテーマに意見交換し、その後班ごとに発表した。

短時間で話し合いから発表まで持っていけるかどうか心配もあったが、どの班も最後の発表は自分たちの伝えたい要点を端的にとらえた発表を行った。



<各班の作成したポスター>

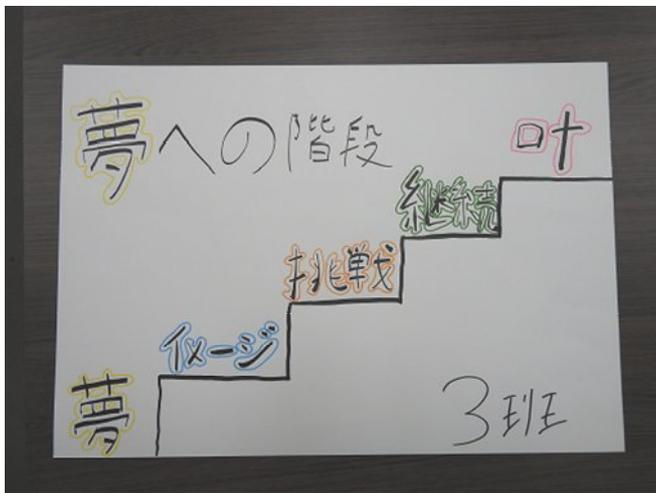
1 班



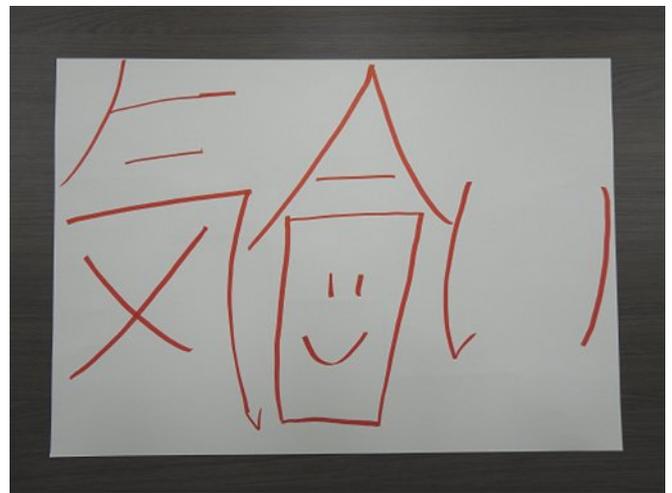
2 班



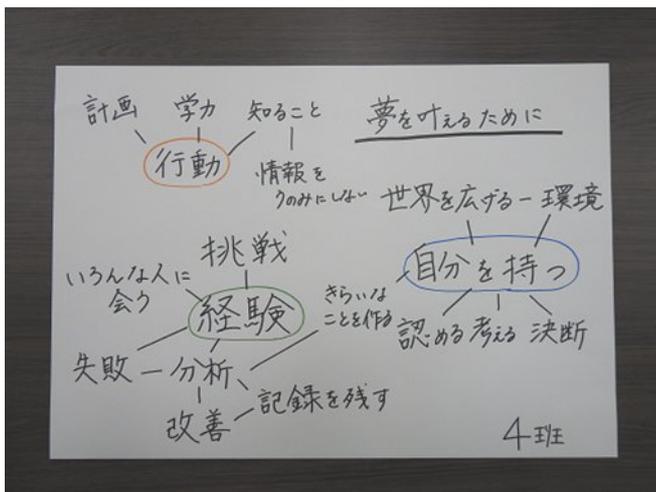
3 班 (表)



(裏)



4 班



5 班



<発表の様子>



3 池上教育長講話（要旨）

- ・今まだ学生だが、10年20年先に会えば、様々な分野で活躍しているだろう。そういった人たちが集まるネットワークになっていっているだろう。
- ・D r e a m授業に参加した後、学校などで一步踏み出したと感じただろうか。一步踏み出せた人はその後の二歩、三歩が更に踏み出しやすいだろう。
- ・中学高校大学と幅広い年齢層が集まっている。自分の考えていること、チャレンジしていること、悩んでいることをさらけ出してほしい。同じ経験をした仲間から刺激を得てほしい。
- ・この先、今の自分が思っていないような大きな羽ばたきがあるかもしれない。新しい何かに挑戦するきっかけ、ひらめき等を同窓会の仲間との話し合いの中でつかんでほしい。



4 同窓会アンケート結果

同窓会開催後に参加者にアンケートを依頼した。27名から回答を得られた。

問 参加してどうでしたか。

とても良かった	20人	74.1%	過去に同じような経験を経た仲間との交流ができた/異なる年齢の人たちと交流したことで様々な考えを知ることができた
良かった	6人	22.2%	過去に同じような経験を経た仲間との交流ができた/異なる年齢の人たちと交流できた
普通	1人	3.7%	同じ年に参加した人が少なかった
あまり良くなかった	0人	0.0%	
良くなかった	0人	0.0%	

問 近況報告はどうでしたか。

とても良かった	17人	63.0%	中学生、高校生、大学生のそれぞれの話を聞いて面白かった/自由に話してくださいというのが気楽になって話しやすかったし有意義な時間になれた
良かった	6人	22.2%	知る楽しさを感じることができた/皆の状況を知ることができた
普通	3人	11.1%	同じ年の参加者の話をもっと聞きたかった
あまり良くなかった	1人	3.7%	同じ年の参加者がいなかったため、聞きたい人の近況を聞くことができなかった
良くなかった	0人	0.0%	

問 グループワーク（意見交換）はどうでしたか。

とても良かった	20人	74.1%	人の意見を聞くのは新しい学びがあると思った/人それぞれの考え方があっておもしろかった/テーマが自分たちの経験などを活かせるもので良かった
良かった	7人	22.2%	初めは少し戸惑ったが、最終的にはよいものができた
普通	0人	0.0%	
あまり良くなかった	0人	0.0%	
良くなかった	0人	0.0%	

問 グループワーク（発表）はどうでしたか。

とても良かった	16人	59.3%	役割を分担して伝えたい部分を要約できた/どこの班もディスカッションが深められた様子が伝わり、新たな視点を多く得ることができた
良かった	9人	33.3%	他の班で出た考えも興味深かった/どの班の発表も明るい雰囲気聴きやすかった
普通	1人	3.7%	もうちょっといろいろやる方が面白い
あまり良くなかった	1人	3.7%	設定時間が短いし周りの反応がもっとあってもよかった
良くなかった	0人	0.0%	

問 また参加したいですか。

是非参加したい	23人	85.2%	話し合いをもとに夢に向かって頑張ろうと思えた/何年後かにまた成長したみんなと会いたい/考え方が広がり、新しい友達もできたため、楽しかった。
どちらかと言えば参加したい	3人	11.1%	学ぶことが多かったから
どちらとも言えない	0人	0.0%	
どちらかと言えば参加したくない	0人	0.0%	
参加したくない	1人	3.7%	満足したから

問 今回の参加して考えたことや感じたことはありますか（自由記述）。

- ・何を思おうが何を考えようが行動しないと何も変わらないと思った。
- ・人と話すにはもっと自分の考えを持ち、自分の経験などをしっかり言えるようにすることが大事だと思った。
- ・皆色々な道を歩んでいることが分かった。
- ・住んでいるところも年齢も違う人たちと交流したことで新たな考え方が芽生えた。また、人それぞれ考え方や価値観も異なるので、自分の視野を広げることができた。
- ・今回の同窓会で、みんなと会えてとても嬉しかったし、楽しかった。中高大と学年の層が広くて、たくさんの人と関わって視野が広がった。

問 Dream授業参加後から頑張っていることはありますか（自由記述）。

- ・地域で大道芸ワールドカップのボランティア活動に毎年参加している。来場者の方々が楽しい時間を過ごす為のお手伝いをしている。
- ・ユースリーダーとして参加し、静岡について理解を深められたと感じていて、地方創生に興味湧いた。
- ・様々な人と出会い、たくさん色々な話をすることを心がけるようになった。
- ・今は1月からの海外留学に向けて英語の勉強を頑張っている。英検二級を取れるくらいのレベルになりたい。
- ・学校の授業で発表することをしている。以前は人と関わるのが苦手であり手を挙げるができなかったが、知らない人と関わる経験をしてから、自分から手を挙げたり、知らない人に話しかけることができるようになった。

問 Dream授業同窓会について要望等（自由記述）。

- ・また同窓会を開き、もっと様々な過去の参加者との繋がりを広めてほしい。
- ・同じ時に受けた人たちで集まりたい。
- ・ぜひまた開催して頂きたい。また、Dream授業のユースリーダーにも挑戦してみたい。
- ・午前で活動を終えた後にランチタイムがあってから解散だといいなと思う。
- ・リーダー塾の紹介が最後にあったが、ぜひたくさんの方の静岡県の高校生に参加していただきたい。自分も卒塾生（オンライン開催）だが、全国の高校生から刺激を得られる貴重な機会だと思う。

令和6年度 未来を切り拓く Dream 授業 報告書

静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局総合教育課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電 話 054-221-3764

F A X 054-221-2905

電子メール sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp